

重点事項	評価内容	評価の観点		担当	評価(昨年度同時期)	総合評価	改善策			
		評価方法	評価基準							
確かな学力	主体的・対話的で深い学びの実現	生徒がわかる授業を行っている		教務・研究	・生徒アンケート ア+イ 国91% 社84% 数92% 理88% 英86% 音89% 美92% 技93% 家95% 保体94% 平均90% 判定A	A	生徒アンケートの結果は良好であるが、授業の理解度が各種テスト等の成績につながるように、取組を工夫していく。			
		根拠・理由をもとに自分の考えを書いている						・生徒アンケート ア+イ 89% 判定B	B	今年度の学校研究のテーマの1つである。各教科でその見方・考え方を生徒が意識できるような授業を展開していく。
		授業の中で学び合い活動をしている								
	学習規律の徹底	授業の約束3か条を守っている			・教師アンケート ア+イ 90% 判定A  ・生徒アンケート ア+イ 91% 判定A	A	チェックファイルを活用し、個人や全体への声掛けを継続していく。また、生徒会からも取組をしていくことで生徒が前向きに取り組んでいけるようにしたい。			
		家庭学習の取組	家庭学習目標時間の達成率					・保護者アンケート ア+イ 40% 判定D	D	授業での「わかる」を家庭学習で定着させることで「できる」につなげていきたい。課題を工夫したり、課題の提出を確実にさせたりすることで家庭での学習習慣をつけさせたい。
家庭学習目標時間 1年70分 2年80分 3年90分 A…70%以上 B…60%以上 C…50%以上 D…50%未満										
豊かな心	楽しい学校	学校に楽しく通っている。		生徒指導	・生徒アンケート ア+イ 94% 判定A  ・保護者アンケート ア+イ 92% 判定A	A	学級活動や生徒会活動をさらに充実させることで、生徒が主体的に活動できる場を増やし、自分肯定感を高められるようにしていきたい。			
	清掃の掃取活動へ	清掃にしっかり取り組んでいる						・生徒アンケート ア+イ 94% 判定A  ・教師アンケート ア+イ 90% 判定A	A	2学期から日課を変更し、掃除の回数を減らしているが、今後も生徒が時間いっぱいしっかり取り組めるように継続して指導していく。また、ふりかえりでがんばりを認める言葉かけをする。
	自治的・生徒発会的活動	委員会活動や係活動に意欲的に取り組んでいる								
	規範意識の向上	ヘルメットを着用している						・生徒アンケート ア+イ 98% 判定A  ・保護者アンケート ア+イ 98% 判定A	A	家庭や学校内だけでなく、誰が見ていなくても社会のルールを守れるように継続的に指導していく。
ヘルメットを着用している ア している A…ア+イ 90%以上 イ ほぼしている B…ア+イ 80%以上 ウ あまりしていない C…ア+イ 80%未満 エ していない D…ア+イ 60%未満										
信頼される学校	学校との公開周知	各種おたよりやホームページを見ている		教頭	・保護者アンケート おたより ア+イ 78% 判定C ホームページ 33% 判定D	C	おたよりやホームページを通して保護者に確実に情報が周知されるように、ホームページの更新の頻度をあげたり、情報端末を通して保護者と直接やりとりしたりしていく。			
	挨拶ができる	すすんで挨拶をしている						・生徒アンケート ア+イ 89% 判定B  ・保護者アンケート ア+イ 80% 判定B	B	教員だけでなく、部活動ごとであいさつ運動を行うなど、声掛けを継続している。あいさつができる雰囲気在今后もつくっていききたい。
働き方改革	教職員の働き方意識改革	時間外勤務が45時間以内になるように業務を工夫している		・教師アンケート ア+イ 53% 判定C	C	教師アンケートで時間外勤務が削減できるアイデアを募り、2学期からは日課を見直し生徒の下校時間を15分早くしたり、諸帳簿の記入が自動化できるようにしたりしている。今後も様々な点を改善していく。				
		A 90%以上 A…ア イ 80%以上 B…イ ウ 50%以上 C…ウ エ 50%未満 D…エ								